

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)ありました。症状はありません。感染地域、感染経路はいずれも不明です。本年の累積報告数は6例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は便潜血陽性です。本年の累積報告数は4例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(10歳未満及び90歳代男性各1例)(第20週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は45例となりました。
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性及び女性各1例)(第20週追加報告分含む)ありました。いずれも感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は26例となりました。
- 百日咳の報告が3例(10歳未満男性、10歳代男性及び40歳代女性各1例)ありました。本年の累積報告数は34例となりました。
- 手足口病の定点当たり報告数が前週0.47(20例)から1.26(54例)に急増しました。これから流行シーズンとなりますので、こまめな手洗い、タオルを共有しないなど予防策をとってください。

◆ 今週のトピックス:<梅毒>

京都市の2019年における梅毒の累積報告数は第21週までで26例となりました。近年の梅毒の報告数は年々増えており、最近5年間で年間報告数の最も多かった一昨年を上回るペースで増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 121例(肺結核 50例, その他結核 31例, 潜在性結核感染者 40例)うち喀痰塗抹陽性 26例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 45例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 26例】
- 五類:百日咳 3例【1月以降の累積報告数 34例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.70	48
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.12	263
	② 手足口病	1.26	54
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	53
	④ 伝染性紅斑	1.12	48
	⑤ 水痘	0.70	30
	⑤ 突発性発疹	0.70	30
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

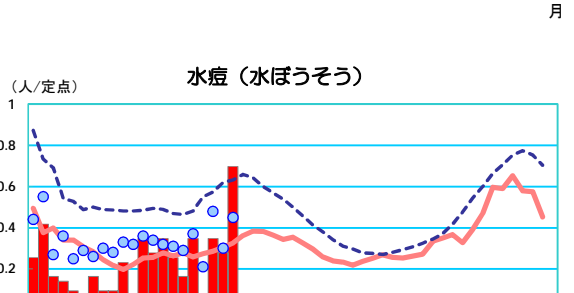
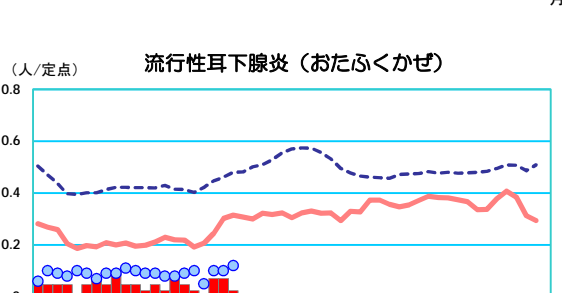
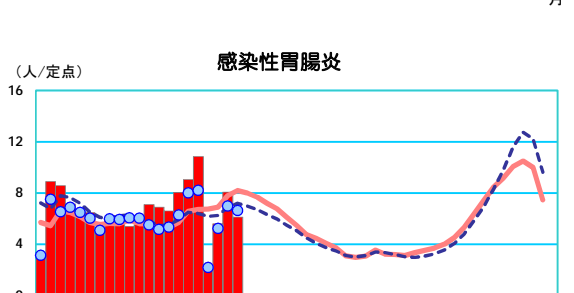
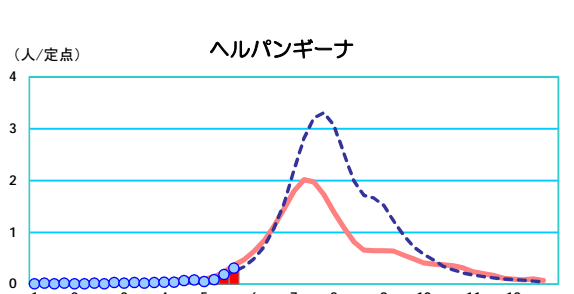
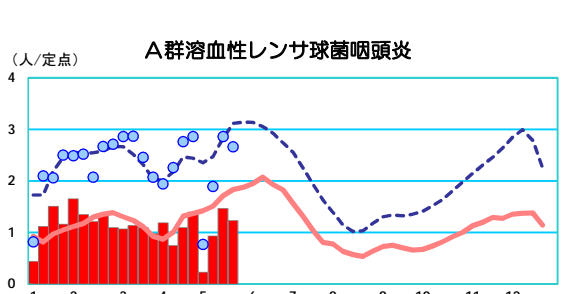
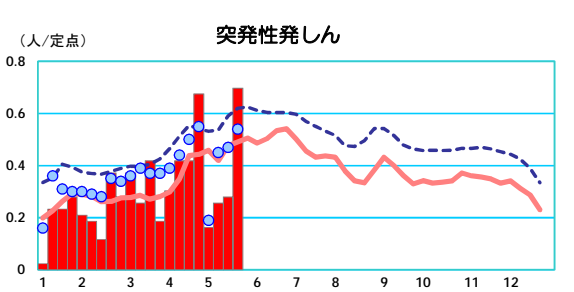
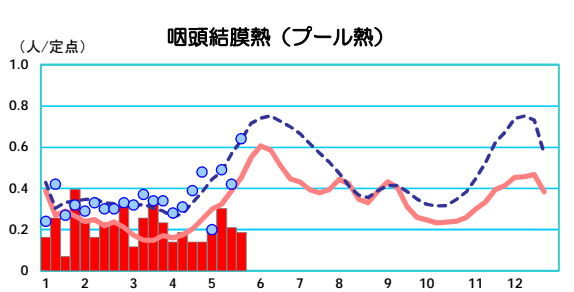
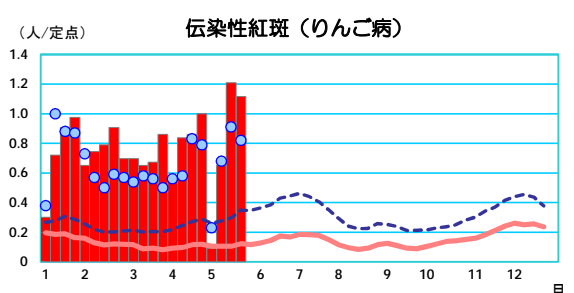
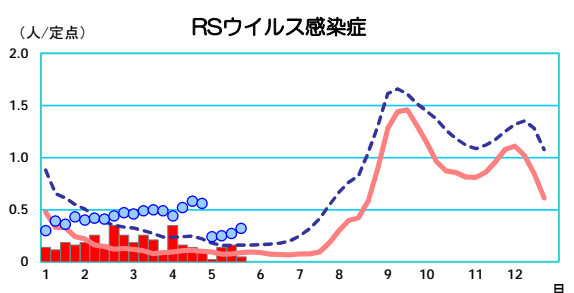
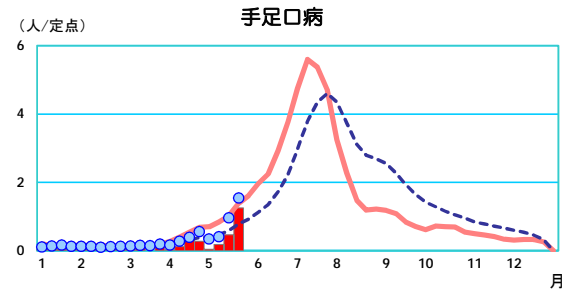
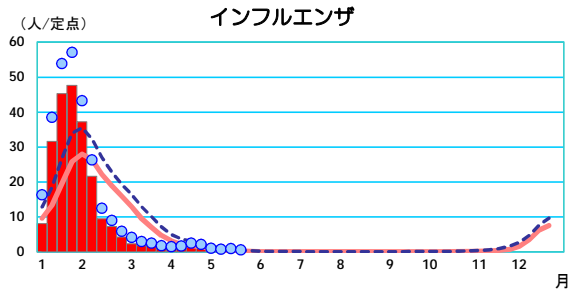
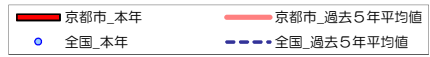
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<梅毒>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年5月29日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



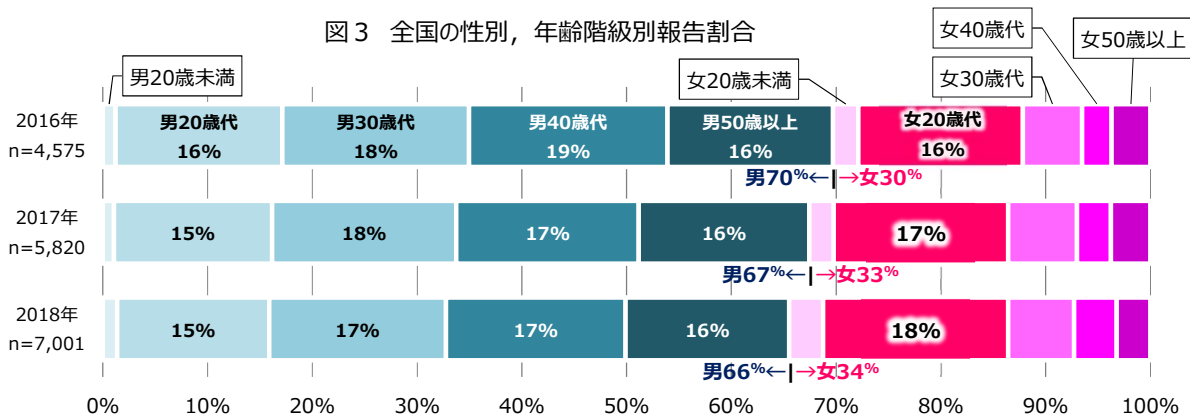
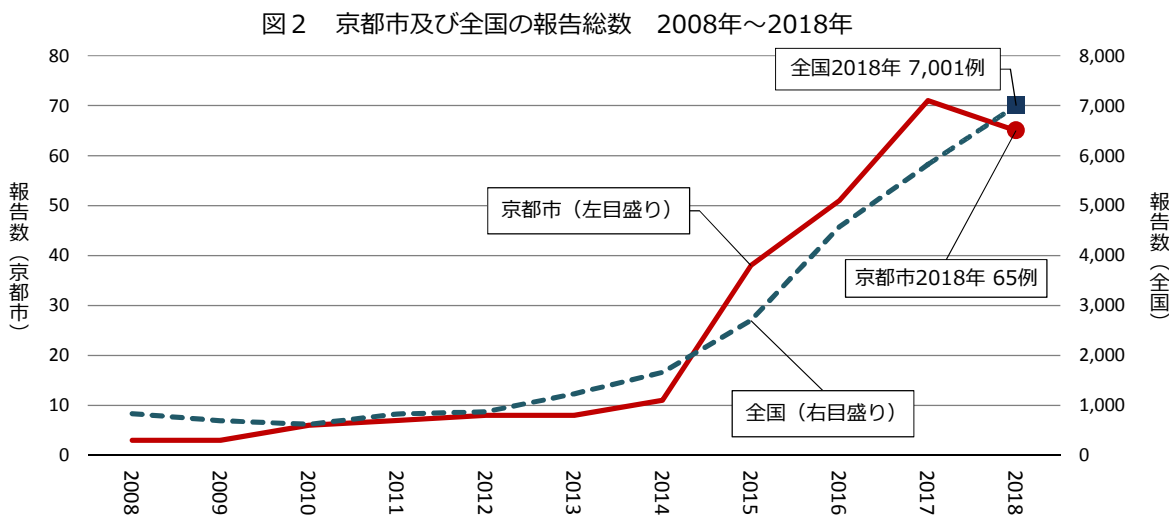
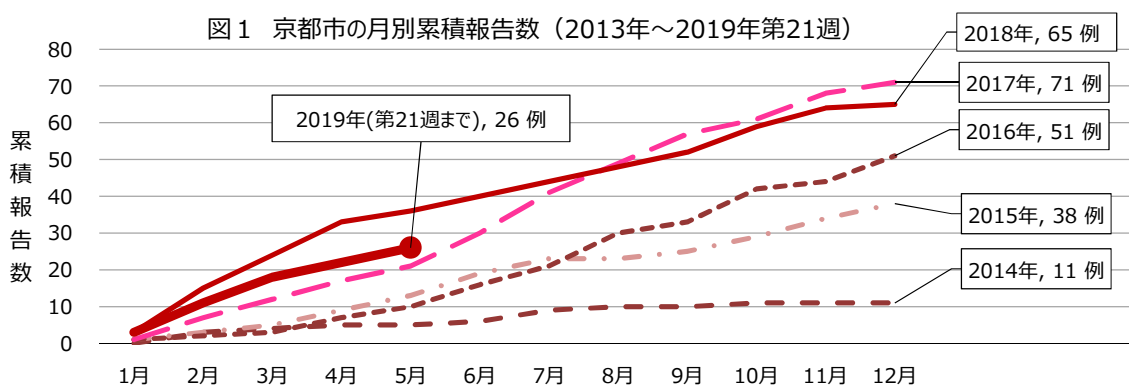
第21週(5月20日～5月26日)トピックス:<梅毒>

京都市の2019年における梅毒の累積報告数は第21週までで26例となりました。近年の梅毒の報告数は年々増えており、本年は昨年同時期に比較すると少ないものの、最近5年間で年間報告数の最も多かった一昨年を上回るペースで増加しています(図1)。全国では第21週までで2,472例の報告があり、昨年同時期2,444例及び一昨年同時期1,961例に比べて高い値で推移しています。

過去10年間の梅毒の推移をみると、京都市では2013年までは10例を下回っていましたが、2014年に10例を上回って以降、急速に報告数が増えています。2018年は前年に比較して若干報告数が減ったものの、依然として高い値となっています。全国では2013年に1,200例を超えてから増加傾向となり、京都市同様、ここ数年は急速に増加し、2018年は7,000例を超えました。(図2)。

全国の発生動向を、性別及び年齢階級別で3年間遡って比較すると、2016年は総数が4,575例で男性が70%、女性が30%でした。男性の年齢階級別割合は30歳代と40歳代がやや多いものの、20歳以上の各年齢が同程度、女性では20歳代が多く、16%を占めていました。続く2017年は、総数が5,820例(前年の約1.3倍)、男性の各年齢の構成比に大きな変化はありませんでしたが、女性の占める割合が33%に、特に20歳代女性の占める割合が17%に増えました。更に2018年には報告数が7,001例(前年の約1.2倍)となり、男性は「20歳未満」を除いて、各年齢階級間の差が少ないのは同様の傾向ですが、女性の割合は全体の34%、20歳代女性は18%と、3年間でどちらも徐々に増加している傾向がみられます(図3)。

梅毒急増の背景には、海外からの人の往来が激しくなったことも一因ではないかとも言われていますが、これに加えて不特定多数との性行為の増加があると見られています。報告数は医療機関を受診した患者に限られますので、自覚症状が少ない等で治療を受けておらず、他の人の感染源となる可能性のある人を含めると感染者数は更に多いと推測されます。梅毒は一度罹っても終生免疫は得られず、何度でも感染します。皮膚や粘膜に異常を感じた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第21週

疾病,行政区別報告数

2019年5月20日～2019年5月26日

データ入手日:2019年5月29日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	4	-	1	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-						
上京	2	-	-	6	6	1	2	-	-	-	-	-	-						
左京	2	-	1	2	39	4	5	13	6	-	-	-	-						
中京	-	-	1	2	2	-	11	1	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4	1	-	2	19	-	1	-	1	2	-	-	-						
山科	4	-	-	4	9	2	2	1	4	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-						
南	5	-	-	2	11	12	-	2	-	1	1	-	-						
右京	12	-	2	22	39	7	7	9	5	2	-	-	2						
伏見	7	1	1	12	104	-	22	18	7	-	-	-	-						
西京	8	-	2	1	33	3	4	4	1	-	-	-	-						
京都市計	48	2	8	53	263	30	54	48	30	11	1	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.57	-	0.25	-	0.25	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-						
上京	0.40	-	-	2.00	2.00	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-						
左京	0.29	-	0.25	0.50	9.75	1.00	1.25	3.25	1.50	-	-	-	-						
中京	-	-	0.33	0.67	0.67	-	3.67	0.33	0.67	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	0.50	-	1.00	9.50	-	0.50	-	0.50	1.00	-	-	-						
山科	0.57	-	-	0.80	1.80	0.40	0.40	0.20	0.80	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
南	1.00	-	-	0.67	3.67	4.00	-	0.67	-	0.33	0.33	-	-						
右京	1.50	-	0.40	4.40	7.80	1.40	1.40	1.80	1.00	0.40	-	-	2.00						
伏見	0.64	0.14	0.14	1.71	14.86	-	3.14	2.57	1.00	-	-	-	-						
西京	1.00	-	0.40	0.20	6.60	0.60	0.80	0.80	0.20	-	-	-	-						
京都市計	0.70	0.05	0.19	1.23	6.12	0.70	1.26	1.12	0.70	0.26	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第21週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年5月20日～2019年5月26日

データ入手日:2019年5月29日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上		
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上			
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上								
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上						
インフルエンザ(※1)	年齢1	48	-	1	1	1	4	2	3	2	3	3	2	9	10	3	1	1	1	1	-	1	-	
RSウイルス感染症	年齢3	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		8	-	1	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		53	-	-	2	6	4	5	13	4	4	3	5	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		263	2	22	44	29	31	18	22	11	18	14	8	20	2	22	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘		30	-	-	2	1	4	1	-	4	6	8	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		54	-	11	25	7	6	1	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		48	-	-	3	1	2	5	10	5	5	8	1	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		30	-	7	20	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		11	-	5	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.70	-	0.01	0.01	0.01	0.06	0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	0.03	0.13	0.14	0.04	0.01	0.01	0.01	-	0.01	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.19	-	0.02	0.14	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.23	-	-	0.05	0.14	0.09	0.12	0.30	0.09	0.09	0.07	0.12	0.12	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.12	0.05	0.51	1.02	0.67	0.72	0.42	0.51	0.26	0.42	0.33	0.19	0.47	0.05	0.51	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.70	-	-	0.05	0.02	0.09	0.02	-	0.09	0.14	0.19	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.26	-	0.26	0.58	0.16	0.14	0.02	0.05	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1.12	-	-	0.07	0.02	0.05	0.12	0.23	0.12	0.12	0.19	0.02	0.09	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.70	-	0.16	0.47	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.26	-	0.12	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第21週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年5月29日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	154	116	40	65	90	48
RSウイルス感染症	6	4	1	6	7	2
咽頭結膜熱	6	6	8	13	9	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	60	10	40	63	53
感染性胃腸炎	389	467	101	241	347	263
水痘	7	15	-	15	12	30
手足口病	14	12	2	8	20	54
伝染性紅斑	37	43	4	28	52	48
突発性発しん	18	29	7	11	12	30
ヘルパンギーナ	1	2	-	3	8	11
流行性耳下腺炎	2	1	-	3	3	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	5	-	2	2	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	688	760	173	435	625	550

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2.23	1.68	0.58	0.94	1.30	0.70
RSウイルス感染症	0.14	0.09	0.02	0.14	0.16	0.05
咽頭結膜熱	0.14	0.14	0.19	0.30	0.21	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.40	0.23	0.93	1.47	1.23
感染性胃腸炎	9.05	10.86	2.35	5.60	8.07	6.12
水痘	0.16	0.35	-	0.35	0.28	0.70
手足口病	0.33	0.28	0.05	0.19	0.47	1.26
伝染性紅斑	0.86	1.00	0.09	0.65	1.21	1.12
突発性発しん	0.42	0.67	0.16	0.26	0.28	0.70
ヘルパンギーナ	0.02	0.05	-	0.07	0.19	0.26
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	-	0.07	0.07	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.50	-	0.20	0.20	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	15.19	17.04	3.67	9.70	13.90	12.52

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。